

経 営 状 況 報 告 書

平成29年7月

(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー

目 次

平成２９年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

- I 平成２９年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書 ・・ 1
- II 平成２９年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書 ・・・・ 11

平成２８年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

- I 平成２８年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書 ・・ 17
- II 平成２８年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書 ・・・・ 29

※ この冊子は、再生紙を使用しています。

平成29年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

I 平成29年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

1 事業運営方針

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、観光客及びコンベンションの誘致、サンポート高松のにぎわい創出を中心に活動を行い、高松市及び香川県の経済活性化はもとより、国際会議観光都市・高松のイメージアップ、国際的知名度及び情報発信機能の向上に取り組んでいる。

コンベンション誘致に関しては、現在、高松市を含め80の都市で推進組織を設けており、首都圏を中心に誘致活動を展開している。中でも地方都市の6地区が連携して実施している共同誘致事業は、情報発信や情報収集など効率が良く、組織力を発揮している。また、単独での取組では、国際会議の誘致を始め、全国大会や学会等の主催者に対する誘致活動及び、国際会議及び企業コンベンション誘致支援事業を強化し、香川県MICE推進協議会と連携を図りながら、更なるコンベンションを中心としたMICEの誘致に取り組む。

観光部門では、高松空港発着の航空便の充実強化は、観光産業にとって観光客増加の絶好の機会であることから、県市や賛助会員と緊密に連携し団体旅行の誘致、国内外からの来訪者に対する受入環境の整備を図り、これまで以上に他地域との差別化を図ることで、観光客の誘客に取り組む。また、彦根市、水戸市等との都市間観光交流事業を引き続き推進するとともに、サンポート高松を拠点としたにぎわい創出事業に、県市や関係者と連携して取り組んでいく。

このような方針のもと、引き続き、21世紀の基幹産業とも言われる観光・コンベンション事業を積極的に推進するため、次の事業を実施する。

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致、支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施する。

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議、全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する事業を実施する。

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等地域経済のあらゆる領域にわたりその発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものであることから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、観光客の誘致や受入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与する事業を実施する。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く）（以下、「高松市等」と言う。）の新たな観光資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発、並びに利用者による情報発信を促す。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

サンポート高松に、人、物、情報等を集めることによりにぎわいを創出し、国際交流及び情報化の推進、産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施する。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市及び香川県の滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に務めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながることで、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、(公社)香川県観光協会よりこれを受託し、管理運営する事業を実施する。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 具体的な事業計画内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

現在、全国53か所の国際会議観光都市が選定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため積極的に誘致活動を展開する。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等主催事務局

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信の訪問

訪問先：学術会議・大会本部・大学・旅行会社・企業等の主催事務局

訪問地：首都圏・関西・中国地方

(b) 有力主催者等へのトップセールス

開催決定が有力視される主催者への県・市・当財団理事クラスの訪問

(c) 国際会議企業ブースへの出展

b 四国内の大学

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信の訪問

四国内の大学の主催者にも、高松市で開催を検討いただけるよう情報を発信し、開催件数の増加を図る。

訪問地：徳島・高知・愛媛の各大学

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

訪問先：学術会議・大会・大学各部・組織団体・協会等の支部事務局

(ウ) 共同誘致事業

a 6地区コンベンション関連団体合同誘致セミナー

(新潟・松本・びわこ・和歌山・高松・長崎)

b I ME (国際ミーティング・エキスポ) への出展

- c 5都市情報交換会（盛岡・金沢・静岡・高松・宮崎）
- d 中国四国コンベンション誘致推進協議会
- e 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会
- f 韓国 国際会議主催者セミナー
- g V J T M－M I C E マートへの出展
- h 東北・中四国合同誘致懇談会への出展
- i I B T M C h i n a 2 0 1 7 への出展
- j 香川県M I C E 推進協議会との連携

イ コンベンション誘致支援事業

高松市及び香川県でコンベンションの開催の意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談や、開催計画の提案や代行、M I C E ツアーを始めとする視察の受入れ、国際会議・企業コンベンション誘致支援事業等を行うことで、高松市及び香川県での開催を促す。

- （ア）主催者等招請事業及び視察受入れ
- （イ）国際会議等キーパーソンの招請事業
- （ウ）国際会議・企業コンベンション誘致支援事業
- （エ）開催企画書の作成代行、テンプレート提供
- （オ）誘致イベント（M I C E ツアー）の開催

ウ コンベンション開催支援事業

高松市及び香川県で開催予定のコンベンション主催者に対し、コンベンション・コンシェルジュとして準備から開催までのノウハウの提供、コンベンション運営スタッフの紹介（無料職業紹介事業）等を行い、主催者の開催を補助するとともに、参加者に対して、各種観光パンフレットなどの情報提供並びに利便性の向上を図る。

- （ア）コンベンション・コンシェルジュとして主催者支援
 - a 会場予約・施設利用調整等
 - b 行政など関係機関との調整（後援、メッセージ等）
 - c ユニークベニュー、アフターコンベンション等の提案
- （イ）コンベンション運営スタッフ紹介事業（無料職業紹介事業）
- （ウ）観光パンフレット等各種参加者支援

エ 広報宣伝事業

インターネットを活用した情報発信や専門誌等に対する広告を行うことで、高松市及び香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介し、コンベンションの開催を促す。

- （ア）団体、賛助会員に対する啓発・周知
- （イ）専門誌等への広告
- （ウ）ホームページの充実による情報発信の強化

オ コンベンション情報収集提供事業

誘致事業等により得られたデータを整理し、コンベンション開催予定表を作成し、広く一般に周知する。また、自らが、主催者及び参加者にアンケート調査を行い、コンベンションがもたらす経済波及効果を試算及び公表をする。加えて、これまで蓄積した主催者情報並びに大会情報データベースを活用し、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実施できるよう努める。

- （ア）開催情報のデータ整備
- （イ）統計書作成・経済波及効果・アンケート調査の実施

- (ウ) コンベンションカレンダーの作成と提供
- (エ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）ビューロー部会への参加
- (オ) 主催者情報・大会情報データベースの整備

（２）コンベンション開催支援補助金交付事業

ア 国際会議等

国際会議等とは、学術、文化、技術等の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術、文化、技術等の研究の発表又は討論のための国際的な会議、スポーツ大会又はこれらに準ずるものをいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・高松市又は近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が５０泊以上あるもの
- ・全参加者のうち外国人参加者（海外から参加する外国人）の占める割合が２０％以上のもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（１枚）、参加者アンケート（１０枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の２５％以内の額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×２，０００円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・最高限度額 ５００万円

b エクスカーション助成金

- ・大会等の主催者が計画し、実施する視察旅行で、高松市内の観光施設等を２か所以上訪問するもの
- ・賃借した台（隻）数に３万円を乗じた額又は賃借料の２分の１の額のどちらか低い方
- ・１千円未満切捨て
- ・最高限度額 ３０万円

イ 国内大会・国内学会等

国内大会等とは、会議、集会、セミナー等をいう。また、国内学会とは学者により構成され、学術研究の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術研究の発表又は討論のための会議、集会、セミナー又はこれに準ずるものをいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・高松市又は近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が１００泊以上あるもの
- ・香川県を含む３県以上から参加があるもの

- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（１枚）、参加者アンケート（１０枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の２５％以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・２０万円。ただし、賛助会員の開催関係事業者のうち、３業種以上を利用したものに限る。

b 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×５００円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・１千円未満切捨て
- ・最高限度額 全国規模１８０万円、その他規模８０万円
- ・全国規模とは、香川県を含む３０都道府県以上からの参加若しくは県外参加者の延べ宿泊数が１，０００泊以上あるものをいう。
- ・その他規模とは、香川県を含む３県以上から参加があるものをいう。

c エクスカーション助成金

- ・大会等の主催者が計画し、実施する視察旅行で、高松市内の観光施設等を２か所以上訪問するもの
- ・賃借した台（隻）数に３万円を乗じた額又は賃借料の２分の１の額のどちらか低い方
- ・１千円未満切捨て
- ・最高限度額 ３０万円

ウ スポーツ大会

スポーツ大会とは、その大会が行う競技の振興及び発展を目的とする競技団体又はその下部組織が主催、共催、後援等を行う大会をいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・香川県内で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が１００泊以上あるもの
- ・香川県を含む３県以上から参加があるもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（１枚）、参加者アンケート（１０枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の２５％以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・２０万円。ただし、賛助会員の開催関係事業者のうち、３業種以上を利用したものに限る。

b 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×５００円

- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・1千円未満切捨て
- ・最高限度額 全国規模80万円、その他規模30万円

c エクスカーション助成金

- ・大会等の主催者が計画し、実施する視察旅行で、高松市内の観光施設等を2か所以上訪問するもの
- ・賃借した台（隻）数に3万円を乗じた額又は賃借料の2分の1の額のどちらか低い方
- ・1千円未満切捨て
- ・最高限度額 30万円

エ 企業コンベンション

企業コンベンションとは、企業が主催するもので、インセンティブ、各種セミナー、スポーツ大会、体験学習などの関連会議などで営利を目的としない諸行事又はこれに準ずるものをいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・高松市又は近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が50泊以上あるもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・20万円。ただし、賛助会員の開催関係事業者のうち、3業種以上を利用したものに限る。

b 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×500円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・1千円未満切捨て
- ・最高限度額 80万円

オ 教育旅行

教育旅行とは、学校等が主催するもので、見学、体験学習などの諸行事又はこれに準ずるものをいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目を満たすものとする。

- ・高松市又は近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 宿泊助成額

- ・ 県外参加者の延べ宿泊数×1, 000円
- ・ 延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・ 開催期間中を対象とする。
- ・ 最高限度額 100万円

カ 合宿等

合宿等とは、各種競技団体、学校などが技術向上や交流等を目的に開催するスポーツや文化活動等営利を目的としないものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・ 香川県内で開催されるもの
- ・ 県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が100泊以上あるもの
- ・ 主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる額とする。

a 宿泊助成額

- ・ 県外参加者の延べ宿泊数×300円
- ・ 延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・ 開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・ 1千円未満切捨て
- ・ 最高限度額 50万円

キ ア～カの補助要件等に関わらず、次のいずれかに該当するものについては、補助金を交付しない。

- ・ 国若しくは地方公共団体が主催又は共催（名義共催は除く。）するもの
- ・ 高松市から補助金が交付されるもの
- ・ 宗教及び政治的活動を目的とするもの
- ・ 不特定多数の参加者から入場料を徴収するもの
- ・ その他、理事長が不相当と認めるもの

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入事業

県外及び国外に対し、高松市の観光資源等のPRを行うとともに、県外に対しては、各種観光キャンペーンへの参画、姉妹都市・交流都市との都市交流事業等の実施、国内観光旅行や教育旅行、合宿の誘致活動を実施する。また、国外に対しては、香川県、高松市と連携し、訪日外国人旅行者の誘客に取り組むとともに、観光庁が展開する訪日旅行促進事業であるビジット・ジャパン事業の地方連携事業に参画し、四国運輸局、四国内のコンベンション推進団体とともに、海外からの誘客に取り組む。加えて、これら活動の効果を高めるため、国内外の旅行エージェントに対し、送客実績に応じた団体旅行補助金を交付する。

(ア) 国内観光客誘致事業

- ツーリズムEXPOジャパン観光キャンペーン事業
- 都市交流事業（彦根市（姉妹城都市）・水戸市（親善都市）等）
- 四国観光商談会（東京・大阪・名古屋）

(イ) 訪日外国人旅行者誘致事業

- a V J 韓国教育旅行招請事業 (V J 地方連携事業)
- b V J 香港M I C E取扱旅行社招請事業 (V J 地方連携事業)
- c V J アメリカ富裕層誘客促進事業 (V J 地方連携事業)
- d 訪日視察・取材受入れ事業
- e 訪日教育旅行誘致訪問 (地方連携事業)
- f 訪日外国人旅行者誘致推進事業

(ウ) 団体旅行誘致事業補助金

高松市又は近隣町 (三木町、直島町、綾川町) に1泊以上の宿泊を伴う旅行の募集型・受注型団体旅行商品 (以下「団体旅行」という。) に対し、観光客の誘致拡大を目的に助成要件を満たす団体旅行にバス助成金を交付する。

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布、さぬき高松まつり等地元観光イベントに参画し、観光客の受入れ体制の充実を図るとともに、電動アシスト自転車の主要観光地への整備、手荷物の宿泊施設への配送や一時預かりを行い、観光客の利便性の向上を図る。また、瀬戸内海を観光資源として捉え、魅力ある瀬戸内海クルージングを実施する民間事業者を支援することにより、瀬戸内海に面した優位性を生かした観光振興を図る。

(ア) 観光パンフレット等作成

- (イ) さぬき高松まつり
- (ウ) 屋島山上初日来迎式
- (エ) さぬき高松たぬきまつり
- (オ) 観光レンタサイクル (電動) 事業 (男木島、仏生山、塩江、八栗)
- (カ) 手ぶら観光推進事業
- (キ) 瀬戸内海サンセットクルージング事業の支援
- (ク) 四国ディスティネーションキャンペーン 関西エリア発特別企画乗車券「四国くるりきっぷ」の施設特典への協力

ウ 広報宣伝事業

高松市の支店経済の特性を生かし、企業の支店長等を高松市観光大使として委嘱し、高松市の良さをPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使及び高松特別ゆめ大使事業、観光名刺の販売事業等、各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図る。

(ア) 高松市観光大使事業

- (イ) 高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業
- (ウ) 観光名刺販売事業

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣市町との連携が必要不可欠であることから、近隣市町の関係機関と連携した協議会に参画し、共同事業等の実施に向けた検討を行う。

- (ア) 東備讃瀬戸観光懇談会 (玉野市、高松市、土庄町、直島町)
- (イ) 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型（募集型企画）旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行（ぶち旅プラン）の企画及び実施を行う。また、モデルコースの充実を図り個人客の誘客や他県からの団体造成の促進に努める。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サンポートのにぎわい創出事業

サンポート高松において、イベントを実施したい民間団体・企業等に対し、イベント等に関する相談や実施に向けた協力、トラブルになりやすい警備や交通関係のアドバイスを行うとともに、毎年、イベントアイデアを公募するなど、イベント件数や来場者の増加に寄与することで、サンポート高松のにぎわいを創出する。

（ア）民間団体等主催のイベント募集及び共催等開催支援事業

（イ）ふれあいコンサート

イ 広報宣伝事業

ホームページ、電子メール、機関紙によりイベントカレンダーの情報を発信するとともに、近県で発行される情報誌や新聞に、サンポート高松の情報を掲載し、サンポート高松のイメージアップや知名度向上を行う。

（ア）ホームページ等を活用した情報提供事業

（イ）サンポート高松を中心とした広告宣伝事業

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施、サンポート高松に関する委員相互の意見交換会の実施、サンポート高松のにぎわいの創出に必要な問題点の検討等を行う。

（ア）サンポート高松のにぎわい創出に関する調査企画委員会

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

（公社）香川県観光協会より本案内所の運営業務を受託し、高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用する。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、J N T O 認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。W i e f i あり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されたことから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、近年増加している訪日外国人旅行者への対応を行う。

- ・場所 JR 高松駅内
- ・運営日 毎日（年中無休）
- ・開所時間 9：00～20：00
- ・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

- (ア) 評議員会
- (イ) 理事会
- (ウ) その他、評議員・役員に関すること

イ 賛助会員

- (ア) 賛助会員総会の開催
- (イ) 賛助会員賀詞交歓会の開催
- (ウ) 賛助会員名簿等の整備
- (エ) 賛助会員加入促進
- (オ) その他賛助会員に関すること

ウ その他財団の必要なこと

- (ア) 経理業務
- (イ) 処務業務
- (ウ) 事務所維持管理
- (エ) インターネットを活用した広報及び情報提供
- (オ) 職員研修の実施
- (カ) 機関紙の発行
- (キ) その他

Ⅱ 平成２９年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書

１ 収 支 予 算 書

(平成２９年４月１日から平成３０年３月３１日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	4,915	5,167	△252	
(2) 会費収入				
賛助会員会費収入	7,500	7,500	0	
(3) 事業収入				
広告等収入	372	372	0	
使用料収入	120	150	△30	
参加料収入	600	600	0	
旅行商品販売収入	576	576	0	
物品等販売収入	1,000	1,000	0	
(4) 補助金等収入				
香川県補助金収入	9,200	9,200	0	
高松市補助金収入	100,203	113,921	△13,718	
開催支援補助金事業収入	30,000	30,000	0	
(5) 受託事業収入				
受託事業収入	17,600	17,600	0	
(6) 特定資産運用収入				
退職給付引当金運用収入	10	11	△1	
(7) 雑収入				
雑収入	6	6	0	
事業活動収入計	172,102	186,103	△14,001	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費				
コンベンション推進事業費	23,464	17,254	6,210	
開催支援補助金事業費	30,000	30,000	0	
観光客誘致事業費	14,973	25,947	△10,974	
観光振興事業費	6,790	16,065	△9,275	
旅行業事業費	1,335	1,338	△3	
にぎわい創出事業費	4,377	4,507	△130	
観光施設管理運営事業費	17,600	17,600	0	
人件費	26,118	40,400	△14,282	
(2) 管理費				
役員報酬	3,936	3,936	0	
人件費	24,307	9,544	14,763	
法人管理運営費	18,902	19,212	△310	
事業活動支出計	171,802	185,803	△14,001	
事業活動収支差額	300	300	0	

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 退職給付引当預金積立収入	1,982	1,641	341	
投資活動収入計	1,982	1,641	341	
(2) 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	1,982	1,641	341	
Ⅲ 財務活動の部				
1. 財務活動収入				
(1) 借入金収入				
短期借入金収入	4,000	4,000	0	
財務活動収入計	4,000	4,000	0	
2. 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出				
短期借入金返済支出	4,000	4,000	0	
長期借入金返済支出	300	300	0	
(2) 退職給付引当金組戻支出	1,982	1,641	341	
財務活動支出計	6,282	5,941	341	
財務活動収支差額	△2,282	△1,941	△341	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

２ 正 味 財 産 増 減 予 算 書

(平成２９年４月１日から平成３０年３月３１日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,930	5,182	△252
特定資産運用益			
退職給付引当金運用益	10	11	△1
受取会費			
受取賛助会員会費	7,500	7,500	0
事業収入			
広告料収入	372	372	0
使用料収入	120	150	△30
参加料収入	600	600	0
旅行業販売収入	576	576	0
物品販売収入	1,000	1,000	0
受取補助金等			
受取香川県補助金	9,200	9,200	0
受取高松市補助金	100,203	113,921	△13,718
受取開催支援事業補助金	30,000	30,000	0
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	17,600	17,600	0
雑収入			
雑収入	6	6	0
経常収益計	172,117	186,118	△14,001
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	27,497	37,390	△9,893
臨時雇賃金等	4,728	4,517	211
福利厚生費	4,923	6,784	△1,861
会議費	736	890	△154
旅費交通費	6,048	6,931	△883
報酬	718	877	△159
報償費	1,186	1,186	0
通信運搬費	151	154	△3
消耗品費	690	688	2
印刷製本費	6,684	6,910	△226
賃借料	684	964	△280
支払負担金	17,718	19,988	△2,270
支払補助金	37,075	49,640	△12,565
広告宣伝費	1,683	2,654	△971
委託料	10,479	6,934	3,545
仕入費	1,881	1,881	0
修繕費	54	54	0
保険料	15	15	0
租税公課	847	908	△61
諸会費	300	300	0
新聞図書費	156	159	△3
支払手数料	121	140	△19
退職給付費用	0	1,641	△1,641
支払利息	9	13	△4

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
雑費	274	306	△32
減価償却費	359	113	246
賞与引当金繰入	241	1,187	△946
管理費			
役員報酬	3,936	3,936	0
給料手当	17,486	7,601	9,885
福利厚生費	3,752	1,943	1,809
会議費	1,051	1,051	0
報酬	23	23	0
通信運搬費	2,006	2,006	0
消耗品費	808	805	3
印刷製本費	476	476	0
賃借料	11,144	11,210	△66
諸会費	780	780	0
支払負担金	50	0	50
委託料	460	460	0
光熱水費	1,322	1,431	△109
修繕費	0	70	△70
燃料費	150	150	0
保険料	356	383	△27
租税公課	161	192	△31
退職給付費用	1,982	0	1,982
新聞図書費	108	108	0
支払手数料	7	17	△10
減価償却費	547	96	451
賞与引当金繰入	1,090	0	1,090
経常費用計	172,952	185,962	△13,010
評価損益等調整前当期経常増減額	△835	156	△991
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△835	156	△991
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△835	156	△991
一般正味財産期首残高	7,164	4,245	2,919
一般正味財産期末残高	6,329	4,401	1,928
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用損益	15	15	0
一般正味財産への振替額	△15	△15	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	542,906	542,906	0
指定正味財産期末残高	542,906	542,906	0
III 正味財産期末残高	549,235	547,307	1,928

正味財産増減予算書(内訳表)

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	1,725		1,795				1,410		4,930
特定資産運用益								10	10
退職給付引当金運用益									
受取会費									
受取賛助会員会費	2,500		2,500				2,500		7,500
事業収入									
広告料収入	80							292	372
使用料収入			120						120
参加料収入								600	600
旅行業販売収入				576					576
物品販売収入	500		500						1,000
受取補助金等									
受取香川県補助金	4,101				1,939		3,155	5	9,200
受取高松市補助金	14,563		16,853	1,059	2,438		19,058	46,232	100,203
受取開催支援事業補助金		30,000							30,000
受託事業収入									
観光施設管理運営事業収入						17,600			17,600
雑収入									
雑収入								6	6
経常収益計	23,469	30,000	21,768	1,635	4,377	17,600	26,123	47,145	172,117
(2) 経常費用									
事業費									
給料手当						5,393	22,104		27,497
臨時雇賃金等						4,728			4,728
福利厚生費						909	4,014		4,923
会議費	262		468	1	5				736
旅費交通費	3,821		2,107			120			6,048
報酬	170		474		74				718
報償費			1,186						1,186
通信運搬費						151			151
消耗品費	540					150			690
印刷製本費	3,317		855	827	1,685				6,684
賃借料	255		365		64				684
支払負担金	6,388		9,330		2,000				17,718
支払補助金	1,305	30,000	5,720		50				37,075
広告宣伝費	855		350		478				1,683
委託料	5,227		52			5,200			10,479
仕入費	729		676	476					1,881
修繕費						54			54
保険料	1		3	11					15
租税公課						847			847
諸会費	300								300
新聞図書費	108					48			156
支払手数料	10		100	11					121
支払利息				9					9
雑費	176		77		21				274
減価償却費	265	19	37	19	19				359
賞与引当金繰入							241		241

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	共通		
管理費									
役員報酬								3,936	3,936
給料手当								17,486	17,486
福利厚生費								3,752	3,752
会議費								1,051	1,051
報酬								23	23
通信運搬費								2,006	2,006
消耗品費								808	808
印刷製本費								476	476
賃借料								11,144	11,144
諸会費								780	780
支払負担金								50	50
委託料								460	460
光熱水費								1,322	1,322
燃料費								150	150
保険料								356	356
租税公課								161	161
退職給付費用								1,982	1,982
新聞図書費								108	108
支払手数料								7	7
減価償却費								547	547
賞与引当金繰入								1,090	1,090
経常費用計	23,729	30,019	21,800	1,354	4,396	17,600	26,359	47,695	172,952
評価損益等調整前当期経常増減額	△260	△19	△32	281	△19	0	△236	△550	△835
投資有価証券評価損益等									0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△260	△19	△32	281	△19	0	△236	△550	△835
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常費用									
経常外費用									0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額									0
当期一般正味財産増減額	△260	△19	△32	281	△19	0	△236	△550	△835
一般正味財産期首残高	2,235	46	835	2,146	46	0	△195	2,051	7,164
一般正味財産期末残高	1,975	27	803	2,427	27	0	△431	1,501	6,329
II 指定正味財産増減の部									
基本財産運用損益	5		5				5		15
一般正味財産への振替額	△5		△5				△5		△15
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	180,968	0	180,968	0	0	0	180,970	0	542,906
指定正味財産期末残高	180,968	0	180,968	0	0	0	180,970	0	542,906
III 正味財産期末残高	182,943	27	181,771	2,427	27	0	180,539	1,501	549,235

平成28年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

I 平成28年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書

平成28年4月 1日から

平成29年3月31日まで

1 概要

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、人・物・情報が活発に交流する個性と魅力ある都市づくりのため、観光客及びコンベンションの誘致を始め、観光とコンベンションを「有機的総合的」に展開し得る事業の取組を行ってきたほか、サンポート高松のにぎわい創出についても鋭意取組を進めてきた。

コンベンション推進部門では、高松市を含め80以上の都市でコンベンション推進機関を設けており、首都圏を中心に誘致活動を展開している。中でも地方都市の6都市が連携して実施している共同誘致事業は、情報の発信や収集など効率良く組織力を発揮した誘致活動を展開することができた。また、日本政府観光局（JNTO）と共同で出展するIT&CMCHINAや韓国で行われた国際会議主催者セミナーでの国際会議等の誘致活動をはじめ、全国大会等の主催者に対する誘致活動及び開催支援、企業コンベンション誘致に対する支援事業の実施など、高松市及び近隣町でのMICE開催につながる事業展開を行うことができた。

観光部門では、訪日外国人旅行者の増加や高松空港発着の航空便の充実強化に伴い、香川県や高松市を始めとした関係機関とともに誘致活動を実施し、多くの観光客の来高につなげることができた。また、高松市・彦根市姉妹城都市提携50周年記念事業などの都市交流事業、高松観光プロモーション事業などの各種観光振興事業、第3種旅行業商品の「ぷち旅プラン」を造成したほか、瀬戸内海クルーズ事業を実施する民間事業者を支援するなど、高松市の観光振興につながる事業展開を行うことができた。

サンポート高松のにぎわい創出部門では、イベントアイデア募集事業を始めとする民間団体・企業等のイベントの支援を行うことで、年間を通じて多彩なイベントが開催され、のにぎわいの創出に寄与できた。

具体的には、コンベンション推進、観光振興、サンポート高松のにぎわい創出など、関係機関・各種団体と連携を密にし、以下の諸事業を実施した。

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致及び支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施した。

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議や全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する事業を実施した。

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等地域経済のあらゆる領域にわたりその発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものであることから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、観光客の誘致や受入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与す

る事業を実施した。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く）（以下「高松市等」と言う。）の新たな観光資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発並びに利用者による情報発信を実施した。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

サンポート高松に人・物・情報を集めることによりにぎわいを創出し、国際交流及び情報化の推進、産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施した。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市及び香川県の滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に務めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながることで、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、(公社)香川県観光協会よりこれを受託し、管理運営する事業を実施した。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 事業の内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

現在、全国53か所の国際会議観光都市が選定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため積極的に誘致活動を展開した。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等主催事務局	15回	120団体
b 四国内の大学	3回	10大学等

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

a 県内における大会関係者など誘致訪問	随時	23団体
b 小・中・高校長会での開催支援制度説明	5月・7月・8月	3回

(ウ) 共同誘致事業

a 6地方都市コンベンション関連団体合同誘致活動 (新潟・松本・びわこ・高松・長崎・和歌山)	7回	228団体
b 国際ミーティング・エキスポへの出展と誘致活動	12月	横浜
c 5都市共同誘致懇談会(盛岡・金沢・静岡・高松・宮崎)	12月	横浜
d 中国四国コンベンション誘致推進協議会への参画	7月	福山
e 四国地区観光コンベンション情報交換会	8月 高松	3月 徳島
f 韓国 国際会議主催者セミナー	6月	ソウル
g IT&CM CHINAへの出展	4月	上海
h VJTM-MICEマートへの出展	9月	東京
i 東北地区・中四国合同コンベンション誘致懇談会	1月	東京

イ コンベンション誘致支援事業

高松市及び香川県でコンベンションの開催の意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談や開催計画の提案、視察の受入れ、企業コンベンション誘致支援事業等を行うことで、高松市及び香川県での開催を促した。

(ア) 主催者等招請事業及び視察受入	3回	6名受入れ
(イ) 国際会議等キーパーソンの視察受入れ	7回	14名受入れ
(ウ) 企業コンベンション誘致支援事業		8件

ウ コンベンション開催支援事業

高松市及び香川県で開催予定のコンベンション主催者に対し、準備から開催までのノウハウの提供等を行い、主催者の開催を補助するとともに、参加者に対して、各種観光パンフレットの配布による情報提供並びに利便性の向上を図った。

- (ア) 会場予約・施設利用調整等主催者支援
- (イ) 観光パンフレット等各種参加者支援
- (ウ) コンベンション運営スタッフ紹介事業（無料職業紹介事業）

エ 広報宣伝事業

インターネットを活用した情報発信や業界誌に対する広告を行うことで、高松市及び香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介し、コンベンションの開催を促した。

- (ア) 市民、企業、団体、賛助会員等に対する啓発・周知
- (イ) 業界誌への広告

オ コンベンション情報収集提供事業

誘致事業等により得られたデータを整理し、コンベンション開催予定表を作成し、広く一般に周知した。また、自らが、主催者及び参加者にアンケート調査を行い、コンベンションがもたらす経済波及効果を試算した。加えて、これまで蓄積した主催者情報並びに大会情報データを活用し、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実践できるよう努めた。

- (ア) 開催情報のデータの整備
- (イ) 統計書の作成及び経済波及効果 平成27年度 約65億円
- (ウ) コンベンションカレンダーの作成と提供
- (エ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）への参画
(総会) 5月 東京 (部会) 7月 岐阜 2月 京都
- (オ) 主催者情報・大会情報データベースの整備

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

全国大会等開催補助金交付要綱を定め、次の国際会議等を開催支援補助金を交付した。

【補助金交付実績】()内は昨年度実績

国際会議等	5件	(7件)
国内大会	20件	(27件)
国内学会等	11件	(15件)
スポーツ大会	18件	(22件)
企業コンベンション	4件	(3件)
教育旅行	4件	(3件)
合宿等	33件	(40件)
計	95件	(117件)

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入事業

県外及び国外に対し、高松市の観光資源等のPRを行うとともに、県外に対しては、修学旅行を始めとした教育旅行、合宿の誘致活動、各種観光キャンペーンへの参画、姉妹城都市・交流都市との都市交流事業等を実施した。

また、国外に対しては、観光庁が展開する訪日外国人旅行者の増加を目的としたビジット・ジャパン事業の地方連携事業に参画し、四国運輸局及び四国内のコンベンション推進団体と共同で韓国教育旅行や香港のMICEの誘致に取り組むとともに、香川県・高松市と共同で訪日外国人旅行者の誘致及び受入事業を実施した。

加えて、これら事業の効果を高め、団体旅行の送客を促進するため、国内外の旅行エージェントに対し、送客実績に応じた団体旅行誘致事業補助金を交付した。

(ア) 国内観光客誘致事業

a ツーリズムEXPOジャパン観光キャンペーン事業	9月	東京
b 都市交流事業	7月	帯広
	11月	彦根・水戸
c 四国観光商談会	10月	大阪
d 四国デスティネーションキャンペーン		
・募集型企画旅行パンフレット助成事業		2件
・全国販売促進会議	5月	高松
・大阪駅PRイベント	7月	大阪

(イ) 訪日外国人観光客誘致事業

a VJ韓国教育旅行招請事業（VJ地方連携事業）	9月	5名受入れ
b VJ香港MICE取扱旅行社招請事業（VJ地方連携事業）	6月	5名受入れ
c VJアメリカ富裕層誘客促進事業（VJ地方連携事業）	3回	8名受入れ
d 訪日視察・取材受入れ事業	3回	49名受入れ
e 訪日教育旅行誘致訪問（地方連携事業）	12月	ソウル
f 訪日観光客誘致推進事業		
・JNTO商談会	5月	ソウル
・四国インバウンドフェア	10月	徳島
・国外旅行博出展参画	5月 高雄・台中	5月 ソウル 7月 台北
・旅行会社誘致訪問	5月 高雄・台中	10月 台北 11月 香港

(ウ) 団体旅行誘致事業補助金

募集型・受注型団体旅行誘致促進事業助成金交付要綱を定め、次の募集型・受注型団体旅行に補助金を交付した。

【補助金交付実績】（ ）内は昨年実績

上半期	129件	(91件)
下半期	85件	(93件)
計	214件	(184件)

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布、さぬき高松まつり等地元観光イベントへの参画、また、手荷物預かりなどの利便性の向上に努めることにより、観光客の受入れ体制の充実を図り、高松市の観光振興を推進した。

(ア) 観光パンフレット等作成	さぬきうどん食べ歩きMAP	
(イ) さぬき高松まつり		8月
(ウ) 高松冬のまつり		12月
(エ) 屋島山上初日来迎式		1月
(オ) さぬき高松ポンポコまつり		5月
(カ) 高松あじのみ物語		7月～11月
(キ) 瀬戸内海クルージング事業の支援	8月～9月	310名参加
(ク) 観光レンタサイクル（電動）事業		2, 254台
男木7台・仏生山5台・塩江4台・八栗5台設置		
(ケ) 手ぶら観光推進事業（JR高松駅前）		6, 757件

ウ 広報宣伝事業

高松市の支店経済の特性を生かし、企業の支店長等を高松市観光大使として委嘱し、高松市の良さをPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使及び高松特別ゆめ事業、企業の経済活動を高松市の観光振興の原動力とする高松観光プロモーション事業、観光名刺の販売事業など各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図った。

(ア) 高松市観光大使事業		
a 研修会（首都圏）		11月
b たかまつ探訪（瀬戸内海ミュージッククルーズ）		8月
(イ) 高松ゆめ大使及び高松特別ゆめ大使事業	出務回数	74件
(ウ) 高松観光プロモーション事業		
a 認定事業への支援		5件
(エ) 観光名刺販売事業		

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣市町等との連携が必要不可欠であることから、関係機関で組織する懇談会等に参画し、共同事業等の実施に向けた検討を行った。

(ア) 東備讃瀬戸観光懇談会（玉野・高松・土庄・直島）	7月	玉野
(イ) 四国地区観光情報交換会	8月	高松 3月 徳島

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型（募集型企画）旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行（ぷち旅プラン）の企画及び実施を行った。また、モデルコースの充実を図り、個人旅行の誘客や県外からの団体造成の促進に努めた。

商品造成 12コース 169名参加

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サンポート高松のにぎわい創出事業

サンポート高松において、イベントを実施したい民間団体・企業等に対し、イベント等に関する相談や実施に向けた協力、トラブルになりやすい警備や交通関係のアドバイスをを行うとともに、イベントアイデアを公募し、開催に向け支援するなど、関係諸団体と協力し、サンポート高松のにぎわい創出に努めた。

(ア) 民間団体等主催のイベント募集及び共催等開催支援事業

採択 8 件 支援（共催）18 件 計 26 件

(イ) ふれあいコンサート

3 月

イ 広報宣伝事業

ホームページ、電子メール、機関紙によりイベントカレンダーの情報を発信するとともに、近県で発行される情報誌等に広告を掲載し、サンポート高松のイメージアップや知名度向上を図った。

(ア) ホームページを活用した情報提供事業

・サンポート高松 on the web 158, 837 回

・携帯サイト「GO!GO!高松」 1, 141 回

(イ) 情報誌等での広告宣伝事業

4 回

(ウ) サンポート高松・高松ガイドブック（4ヶ国語版）作成

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施、サンポート高松に関する委員相互の意見交換会の実施、サンポート高松のにぎわい創出に必要な問題点の検討等を行った。

(ア) サンポート高松のにぎわい創出に関する調査企画委員会

11 月

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用した。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、JNTO認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fiあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されたことから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、近年増加している訪日外国人旅行者への対応を行った。

・場所 JR高松駅構内

・運営日 毎日（年中無休）

・開所時間 9:00～20:00

・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

利用件数 101, 113 件（うち外国人28, 965 件）

利用人数 69, 445 人（うち外国人18, 597 人）

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

(ア) 評議員会 4月 6月 11月

(イ) 理事会 5月 6月 10月 12月 3月

(ウ) その他、役員・評議員に関すること

イ 賛助会員

(ア) 賛助会員総会等の開催 7月 総会 1月 新年賀詞交歓会

(イ) 賛助会員名簿等の整備

(ウ) 賛助会員加入促進

(エ) その他賛助会員に関すること

ウ その他財団の必要なこと

(ア) 経理業務

(イ) 処務業務

(ウ) 事務所維持管理

(エ) インターネットを活用した広報及び情報提供 2, 049, 681回

(オ) 職員研修の実施

(カ) 機関紙の発行

(キ) その他

3 評議員会に関する事項

事業報告、収支決算、評議員、役員の選任等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	議決・承認 年月日
(第1回臨時)			
議案第1号	理事の選任について	H28. 4. 11	H28. 4. 25
(定例)			
議案第2号	平成27年度事業報告及び収支決算について	H28. 6. 1	H28. 6. 1
議案第3号	任期満了に伴う評議員の選任について	H28. 6. 1	H28. 6. 1
議案第4号	任期満了に伴う役員の選任について	H28. 6. 1	H28. 6. 1
(第2回臨時)			
議案第5号	評議員の選任について	H28. 11. 2	H28. 11. 18

4 評議員に関する事項

(1) 平成29年3月31日現在の評議員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	芦 田 克 也	高松タクシー協会会長	H27. 6. 9
評 議 員	石 川 雅 章	高松琴平電気鉄道(株)執行役員管理本部統括部長	H28. 11. 18
評 議 員	今 西 照 章	(一社)香川県バス協会専務理事	H27. 6. 9
評 議 員	臼 杵 徹	琴平町観光協会専務理事	H25. 6. 24
評 議 員	岡 田 孝 浩	香川県農業協同組合中央会参事	H26. 4. 18
評 議 員	香 川 英 子	さぬき麺業(株)常務取締役	H25. 3. 26
評 議 員	鎌 田 長 明	(公社)高松青年会議所直前理事長	H28. 6. 1
評 議 員	川 地 敦 夫	四国電力(株)高松支店副支店長	H28. 6. 1
評 議 員	川 畑 貢	香川県信用組合理事長	H25. 3. 26
評 議 員	桑 嶋 貴 史	(株)中央代表取締役社長	H13. 3. 26
評 議 員	小 槌 和 志	(株)百十四銀行取締役常務執行役員	H28. 6. 1

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	三 枝 邦 彦	(一社) 小豆島観光協会副会長	H28. 6. 1
評 議 員	竹 田 省 二	(株) 瀬戸内海放送顧問	H16. 4. 1
評 議 員	辻 村 武	(株) 高松三越代表取締役社長	H21. 4. 1
評 議 員	土 岐 敦 史	高松市創造都市推進局長	H28. 6. 1
評 議 員	徳 永 孝 明	高松ホテル旅館料理協同組合副理事長	H24. 4. 1
評 議 員	富 永 久	西日本放送 (株) 取締役総務局長兼経営企画部長	H28. 6. 1
評 議 員	蓮 井 明 博	高松信用金庫理事長	H28. 6. 1
評 議 員	原 直 行	香川大学経済学部学部長	H28. 6. 1
評 議 員	藤 澤 英 治	塩江温泉観光協会会長	H20. 4. 1
評 議 員	森 静 家	屋島山上観光協会会長	H26. 4. 18
評 議 員	森 惟 夫	香川県ゴルフ協会代議員	H20. 4. 1
評 議 員	安 松 延 朗	香川県交流推進部長	H27. 6. 9

(2) 評議員の辞任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	辞任年月日
評 議 員	河 田 悦 夫	高松琴平電気鉄道 (株) 経営企画室部長	H28. 6. 14

(3) 評議員の退任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	退任年月日
評 議 員	北 島 茂 俊	香川県社交飲食業生活衛生同業組合副理事長兼専務理事	H28. 6. 1
評 議 員	十 河 陽之助	(公社) 高松青年会議所理事長	H28. 6. 1
評 議 員	丹 生 年 一	(社) 小豆島観光協会副会長	H28. 6. 1
評 議 員	福 永 航 一	日本航空 (株) 高松支店長	H28. 6. 1
評 議 員	松 下 雄 介	高松市副市長	H28. 6. 1
評 議 員	三 村 和 馬	アルファあなぶきホール館長	H28. 6. 1
評 議 員	村 上 義 憲	セーラー広告 (株) 代表取締役社長	H28. 6. 1

5 理事会に関する事項

事業報告、収支決算、事業計画、収支予算、諸規程の改廃等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	議決・承認 年月日
(第1回)			
議案第1号	副理事長の互選について	H28. 5. 27	H28. 5. 27
議案第2号	平成27年度事業報告及び収支決算（案）について	H28. 5. 27	H28. 5. 27
議案第3号	定時評議員会の開催について	H28. 5. 27	H28. 5. 27
(第2回)			
議案第4号	理事長・副理事長・専務理事の互選について	H28. 6. 1	H28. 6. 1
(第3回)			
議案第5号	平成28年度上半期事業報告について	H28. 10. 28	H28. 10. 28
議案第6号	臨時評議員会の開催について	H28. 10. 28	H28. 10. 28
(第4回)			
議案第7号	職員給与規程の一部改正について	H28. 12. 5	H28. 12. 20
(第5回)			
議案第8号	平成29年度事業計画及び予算（案）について	H29. 3. 30	H29. 3. 30
議案第9号	補助金交付規程の一部改正について	H29. 3. 30	H29. 3. 30
議案第10号	就業規程の一部改正について	H29. 3. 30	H29. 3. 30
議案第11号	育児・介護休業等に関する規程の一部改正について	H29. 3. 30	H29. 3. 30
議案第12号	臨時評議員会の開催について	H29. 3. 30	H29. 3. 30

6 役員に関する事項

(1) 平成29年3月31日現在の役員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
理 事 長	佐 野 正	(株) ジェイアール四国企画代表取締役社長	H26. 4. 18
副 理 事 長	三 矢 昌 洋	高松ホテル旅館料理協同組合理事長	H 6. 9. 27
副 理 事 長	新 池 伸 司	香川県交流推進部次長	H29. 3. 2
副 理 事 長	長 井 一 喜	高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部長	H28. 6. 1
副 理 事 長	宮 武 寛	高松商工会議所常務理事	H28. 4. 25
専 務 理 事	今 井 邦 郎	(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー専務理事	H25. 4. 1
理 事	阿 部 浩 之	ANAセールス(株) 高松支店長	H27. 6. 9
理 事	安 部 雅 之	(公財) 高松市文化芸術財団常務理事	H28. 6. 1
理 事	北 島 茂 俊	香川県社交飲食業生活衛生同業組合副理事長兼専務理事	H28. 6. 1
理 事	福 永 航 一	日本航空(株) 高松支店長	H28. 6. 1
理 事	古 川 康 造	高松中央商店街振興組合連合会理事長	H25. 6. 24
理 事	松 村 英 幹	高松商運(株) 代表取締役社長	H26. 5. 23
理 事	真 鍋 久 芳	香川県ホテル協会会長	H28. 6. 1
理 事	三 谷 雄 治	(公社) 香川県観光協会専務理事	H26. 5. 23
理 事	村 上 義 憲	セーラー広告(株) 代表取締役社長	H28. 6. 1
理 事	矢 田 博 嗣	(株) J T B 中国四国執行役員高松支店長	H27. 6. 9
理 事	矢 野 昭 文	(株) 電通西日本高松支社長	H28. 4. 25
理 事	山 口 晴 樹	シンボルタワー開発(株) 専務取締役	H23. 11. 25
理 事	米 田 優	レクザムホール館長	H28. 6. 1
監 事	石 川 豊	公認会計士	H24. 4. 1
監 事	本 田 典 孝	(株) 香川銀行専務取締役	H16. 4. 1

(2) 役員の辞任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	辞任年月日
理 事	阿 部 浩 之	ANAセールス（株）高松支店長	H29. 3. 31

(3) 役員の退任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	退任年月日
副 理 事 長	土 岐 敦 史	高松市創造都市推進局長	H28. 6. 1
理 事	綾 田 裕次郎	（株）百十四銀行常務執行役員	H28. 6. 1
理 事	稲 田 道 彦	香川大学経済学部教授	H28. 6. 1
理 事	川 地 敦 夫	四国電力（株）高松支店副支店長	H28. 6. 1
理 事	正 木 一 志	香川県ホテル協会	H28. 6. 1
理 事	吉 岡 邦 男	西日本放送（株）専務取締役・ＣＯＯ	H28. 6. 1

Ⅱ 平成２８年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書

１ 収 支 計 算 書

(平成２８年４月１日から平成２９年３月３１日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
(1) 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	5,167,000	4,921,490	245,510
(2) 会費収入			
賛助会員会費収入	7,500,000	7,005,000	495,000
(3) 事業収入			
広告等収入	372,000	371,600	400
使用料収入	150,000	225,400	△ 75,400
参加料収入	600,000	566,500	33,500
旅行商品販売収入	576,000	388,100	187,900
物品等販売収入	1,000,000	1,005,010	△ 5,010
(4) 補助金等収入			
国庫補助金収入	0	376,260	△ 376,260
香川県補助金収入	9,200,000	8,136,000	1,064,000
高松市補助金収入	113,921,000	101,272,861	12,648,139
開催支援補助金事業収入	30,000,000	29,906,000	94,000
(5) 受託事業収入			
受託事業収入	17,600,000	16,485,084	1,114,916
(6) 特定資産運用収入			
退職給付引当金運用収入	11,000	5,927	5,073
(7) 雑収入			
雑収入	6,000	268,746	△ 262,746
事業活動収入計	186,103,000	170,933,978	15,169,022
2 事業活動支出			
(1) 事業費			
コンベンション推進事業費	17,254,000	14,358,704	2,895,296
開催支援補助金事業費	30,000,000	29,906,000	94,000
観光客誘致事業費	25,947,000	21,378,812	4,568,188
観光振興事業費	16,065,000	15,615,608	449,392
旅行業事業費	1,338,000	1,145,722	192,278
にぎわい創出事業費	4,507,000	4,132,638	374,362
観光施設管理運営事業費	17,600,000	16,485,084	1,114,916
人件費	40,400,000	36,100,173	4,299,827

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
(2) 管理費			
役員報酬	3,936,000	3,636,100	299,900
人件費	9,544,000	9,255,529	288,471
法人管理運営費	19,212,000	18,619,608	592,392
事業活動支出計	185,803,000	170,633,978	15,169,022
事業活動収支差額	300,000	300,000	0
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
(1) 退職給付引当預金積立収入	1,641,000	1,951,529	△ 310,529
投資活動収入計	1,641,000	1,951,529	△ 310,529
2 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	1,641,000	1,951,529	△ 310,529
III 財務活動の部			
1 財務活動収入			
(1) 借入金収入			
短期借入金収入	4,000,000	0	4,000,000
財務活動収入計	4,000,000	0	4,000,000
2 財務活動支出			
(1) 借入金返済支出			
短期借入金返済支出	4,000,000	0	4,000,000
長期借入金返済支出	300,000	300,000	0
(2) 退職給付引当金組戻支出	1,641,000	1,951,529	△ 310,529
財務活動支出計	5,941,000	2,251,529	3,689,471
財務活動収支差額	△ 1,941,000	△ 2,251,529	310,529
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、仮払金、買掛金、未払金、未払費用、預り金、預り消費税及び未払消費税を含めており、当期末の残高は、次項に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産・負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末金額	当期末金額
1 流動資産		
現金預金	24,474,148	24,727,556
未収金	5,329,087	4,236,417
立替金	120,661	0
仮払金	5,896	0
流動資産合計	29,929,792	28,963,973
1 流動負債		
買掛金	729,000	194,400
未払金	27,351,162	27,121,205
未払費用	317,727	178,680
預り金	878,024	774,788
預り消費税	653,879	0
未払消費税	0	694,900
流動負債合計	29,929,792	28,963,973
次期繰越収支差額	0	0

平成29年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

1 資金調達の見込みについて

当期中における借入の予定及び借入先等

借入の予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途
		円	

2 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備等（除却又は売却を含む。）の予定の有無

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
		円	

２ 貸 借 対 照 表

(平成２９年３月３１日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	24,727,556	24,474,148	253,408
未収金	4,236,417	5,329,087	△ 1,092,670
立替金	0	120,661	△ 120,661
仮払金	0	5,896	△ 5,896
棚卸資産	1,880,830	1,501,750	379,080
流動資産合計	30,844,803	31,431,542	△ 586,739
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	44,312,500	44,312,500	0
投資有価証券	499,674,825	499,588,638	86,187
基本財産合計	543,987,325	543,901,138	86,187
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	23,806,480	21,854,951	1,951,529
供託金	3,000,000	3,000,000	0
特定資産合計	26,806,480	24,854,951	1,951,529
(3) その他固定資産			
建物	595,689	630,057	△ 34,368
建物附属設備	253,462	370,706	△ 117,244
器具備品	2,348,121	1,805,644	542,477
電話加入権	145,600	145,600	0
車両運搬具	1	39,869	△ 39,868
その他固定資産合計	3,342,873	2,991,876	350,997
(4) その他投資等			
リサイクル預託金	0	12,590	△ 12,590
その他投資等合計	0	12,590	△ 12,590
固定資産合計	574,136,678	571,760,555	2,376,123
資産合計	604,981,481	603,192,097	1,789,384
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	194,400	729,000	△ 534,600
未払金	27,121,205	27,351,162	△ 229,957
未払費用	178,680	317,727	△ 139,047
預り金	774,788	878,024	△ 103,236
賞与引当金	1,086,773	750,735	336,038
預り消費税	0	653,879	△ 653,879
未払消費税	694,900	0	694,900
流動負債合計	30,050,746	30,680,527	△ 629,781
2 固定負債			
退職給付引当金	23,806,480	21,854,951	1,951,529
長期借入金（供託金分）	600,000	900,000	△ 300,000
固定負債合計	24,406,480	22,754,951	1,651,529
負債合計	54,457,226	53,435,478	1,021,748

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
高松市出捐金	300,000,000	300,000,000	0
高松市基本財産積立金	91,906,000	91,906,000	0
香川県出捐金	150,000,000	150,000,000	0
民間団体寄付金	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産合計	542,906,000	542,906,000	0
(うち基本財産への充当額)	(542,906,000)	(542,906,000)	0
2 一般正味財産	7,618,255	6,850,619	767,636
(うち基本財産への充当額)	(1,081,325)	(995,138)	(86,187)
(うち特定資産への充当額)	(2,400,000)	(2,100,000)	(300,000)
正味財産合計	550,524,255	549,756,619	767,636
負債及び正味財産合計	604,981,481	603,192,097	1,789,384

貸借対照表内訳表

(平成29年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6		
I 資産の部								
1 流動資産								
現金預金		5,174,000	13,319,504	603		2,558,397	1,218,889	24,727,556
未収金	617,500		226,780		92,520		2,825,980	4,236,417
棚卸資産	1,492,830		388,000					1,880,830
流動資産合計	2,110,330	5,174,000	13,934,284	603	92,520	2,558,397	4,044,869	30,844,803
2 固定資産								
(1) 基本財産								
定期預金								
投資有価証券	149,898,735		149,855,822				44,312,500	44,312,500
基本財産合計	149,898,735	0	149,855,822	0	0	0	199,920,268	499,674,825
(2) 特定資産								
退職給付引当資産							244,232,768	543,987,325
供託金								
特定資産合計	0	0		3,000,000			21,854,951	23,806,480
(3) その他固定資産								
建物				3,000,000				3,000,000
建物附属設備						0	21,854,951	26,806,480
器具備品	995,746	32,327	64,651	32,327				595,689
電話加入権	22,750	13,650	40,950	13,650	32,327			253,462
車両運搬具					13,650		4,550	1,190,743
その他固定資産合計	1,018,496	45,977	105,601	45,977	45,977		1	36,400
固定資産合計	150,917,231	45,977	149,961,423	3,045,977	45,977	0	4,550	2,076,295
資産合計	153,027,561	5,219,977	163,895,707	3,046,580	138,497	2,558,397	270,137,138	604,981,481

(単位：円)

科 目	公益目的事業						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	共通	
II 負債の部								
1 流動負債								
買掛金			194,400					194,400
未払金	617,500	5,174,000	13,351,884	603	88,416	1,863,497	4,044,869	27,121,205
未払費用					4,104			178,680
預り金								774,788
賞与引当金								1,086,773
未払消費税						694,900		694,900
流動負債合計	617,500	5,174,000	13,546,284	603	92,520	2,558,397	5,131,642	30,050,746
2 固定負債								
退職給付引当金								
長期借入金（供託金分）								
固定負債合計	0	0		600,000	0	0	21,854,951	23,806,480
負債合計	617,500	5,174,000	13,546,284	600,603	92,520	2,558,397	26,986,593	54,457,226
III 正味財産の部								
1 指定正味財産								
高松市出捐金	99,594,000		99,641,000				100,765,000	300,000,000
高松市基本財産積立金							91,906,000	91,906,000
香川県出捐金	50,000,000		50,000,000				50,000,000	150,000,000
民間団体寄付金							1,000,000	1,000,000
指定正味財産合計	149,594,000	0	149,641,000	0	0	0	243,671,000	542,906,000
（うち基本財産への充当額）	(149,594,000)		(149,641,000)				(243,671,000)	(542,906,000)
2 一般正味財産	2,816,061	45,977	708,423	2,445,977	45,977	0	△ 520,455	7,618,255
（うち基本財産への充当額）	(304,735)		(214,822)	(2,400,000)			(561,768)	(1,081,325)
（うち特定資産への充当額）								(2,400,000)
正味財産合計	152,410,061	45,977	150,349,423	2,445,977	45,977	0	243,150,545	550,524,255
負債及び正味財産合計	153,027,561	5,219,977	163,895,707	3,046,580	138,497	2,558,397	270,137,138	604,981,481

3 正 味 財 産 増 減 計 算 書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,007,677	6,397,531	△ 1,389,854
特定資産運用益			
退職給付資産運用益	5,927	12,414	△ 6,487
受取会費			
賛助会員受取会費	7,005,000	6,940,000	65,000
事業収入			
広告等収入	371,600	291,600	80,000
使用料収入	225,400	172,300	53,100
参加料収入	566,500	590,000	△ 23,500
旅行業販売収入	388,100	174,800	213,300
物品等販売収入	1,005,010	1,666,930	△ 661,920
受取補助金			
受取国庫補助金	376,260	0	376,260
受取香川県補助金	8,136,000	8,532,000	△ 396,000
受取高松市補助金	101,272,861	102,850,298	△ 1,577,437
受取開催支援事業補助金	29,906,000	37,700,000	△ 7,794,000
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	16,485,084	11,210,447	5,274,637
雑収入			
雑収入	256,156	330,044	△ 73,888
経常収益計	171,007,575	176,868,364	△ 5,860,789
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	32,833,247	30,663,354	2,169,893
福利厚生費	5,758,687	5,545,980	212,707
会議費	571,304	488,146	83,158
旅費交通費	6,153,351	5,627,079	526,272
報酬	519,822	535,114	△ 15,292
通信運搬費	63,418	286,462	△ 223,044
消耗品費	913,716	647,609	266,107
印刷製本費	6,229,980	5,260,896	969,084
賃借料	611,825	748,561	△ 136,736
支払負担金	18,604,833	21,424,040	△ 2,819,207
支払補助金	43,331,000	51,320,000	△ 7,989,000
雑費	38,433	21,942	16,491
広告宣伝費	3,283,185	2,217,369	1,065,816
委託料	8,089,796	675,526	7,414,270
臨時雇賃金等	4,621,754	8,144,855	△ 3,523,101
仕入費	1,090,372	2,068,917	△ 978,545
光熱水費	0	328,231	△ 328,231
報償費	416,858	1,070,101	△ 653,243

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
修繕費	1,262,520	898,680	363,840
燃料費	0	435	△ 435
保険料	13,323	22,724	△ 9,401
租税公課	811,477	665,079	146,398
退職給付費用	1,951,529	1,489,300	462,229
支払手数料	341,697	82,592	259,105
備品購入費	14,210	75,694	△ 61,484
支払利息	7,341	191,681	△ 184,340
新聞図書費	159,248	309,276	△ 150,028
諸会費	300,000	0	300,000
減価償却費	356,812	131,331	225,481
賞与引当金繰入	1,086,773	750,735	336,038
管理費			
給料手当	7,433,741	7,354,206	79,535
福利厚生費	1,821,788	1,911,812	△ 90,024
会議費	905,021	1,010,481	△ 105,460
旅費交通費	1,130	0	1,130
報酬	18,682	12,000	6,682
通信運搬費	1,455,951	1,859,426	△ 403,475
消耗品費	579,794	813,069	△ 233,275
印刷製本費	501,780	471,000	30,780
賃借料	10,756,805	10,234,146	522,659
支払負担金	142,000	142,400	△ 400
委託料	337,284	883,764	△ 546,480
光熱水費	1,081,663	982,071	99,592
役員報酬	3,636,100	3,688,100	△ 52,000
修繕費	565,008	204,447	360,561
燃料費	60,000	100,000	△ 40,000
保険料	186,870	364,350	△ 177,480
租税公課	39,350	76,050	△ 36,700
退職給付費用	0	702,000	△ 702,000
支払手数料	28,068	50,312	△ 22,244
備品購入費	129,804	512,655	△ 382,851
新聞図書費	80,024	110,343	△ 30,319
諸会費	769,734	709,734	60,000
減価償却費	272,831	236,558	36,273
経常費用計	170,239,939	174,120,633	△ 3,880,694
評価損益等調整前当期経常増減額	767,636	2,747,731	△ 1,980,095
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	767,636	2,747,731	△ 1,980,095

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	767,636	2,747,731	△ 1,980,095
一般正味財産期首残高	6,850,619	4,102,888	2,747,731
一般正味財産期末残高	7,618,255	6,850,619	767,636
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用損益	86,187	257,759	△ 171,572
一般正味財産への振替額	△ 86,187	△ 257,759	171,572
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	542,906,000	542,906,000	0
指定正味財産期末残高	542,906,000	542,906,000	0
III 正味財産期末残高	550,524,255	549,756,619	767,636

正味財産増減計算書内訳表

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益								
基本財産受取利息	1,760,562		1,849,631				1,397,484	5,007,677
特定資産運用益								
退職給付資産運用益								
受取会費								
賛助会員受取会費	2,333,000		2,338,000				2,334,000	7,005,000
事業収入								
広告等収入	80,000							
使用料収入			225,400					371,600
参加料収入			47,500					225,400
旅行業販売収入				388,100			519,000	566,500
物品等販売収入	187,350		817,660					388,100
受取補助金								
受取国庫補助金							376,260	376,260
受取香川県補助金	3,090,534				1,847,932		3,197,534	8,136,000
受取高松市補助金	6,947,820		31,752,110	1,057,622	2,284,706		29,180,899	101,272,861
受取開催支援事業補助金		29,906,000					30,049,704	29,906,000
受託事業収入								
観光施設管理運営事業収入						16,485,084		16,485,084
雑収入								
雑収入							256,156	256,156
経常収益計	14,399,266	29,906,000	37,030,301	1,445,722	4,132,638	16,485,084	36,109,917	171,007,575

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
(2) 経常費用								
事業費								
給料手当	229,765		339,479		2,060	4,409,752	28,423,495	32,833,247
福利厚生費	3,156,685		2,952,666			784,273	4,974,414	5,758,687
会議費	36,512		444,218	5,100				571,304
旅費交通費	12,204		46,588		39,092	38,900		6,153,351
報酬	788,496							519,822
通信運搬費						4,626		63,418
消耗品費	2,022,624		2,013,876	789,480	1,404,000	125,220		913,716
印刷製本費	100,313		439,604		66,908	5,000		6,229,980
賃借料	5,698,862		10,902,971	3,000	2,000,000			611,825
支払負担金	305,000	29,906,000	13,070,000		50,000			18,604,833
支払補助金	17,620		20,813					43,331,000
雑費	699,692		2,014,643		568,850			38,433
広告宣伝費	117,215		2,483,897			5,488,684		3,283,185
委託料						4,621,754		8,089,796
臨時雇賃金等								4,621,754
仕入費	187,920		575,458	326,994				1,090,372
報償費			416,858					416,858
修繕費			1,262,520					1,262,520
保険料			2,000	11,323				13,323
租税公課						811,477		811,477
退職給付費用							1,951,529	1,951,529
支払手数料	36,716		170,829	2,484	1,728	129,940		341,697
備品購入費						14,210		14,210
支払利息				7,341		51,248		7,341
新聞図書費	108,000							159,248
諸会費	300,000							300,000
減価償却費	264,451	18,472	36,945	18,472	18,472			356,812
賞与引当金繰入							1,086,773	1,086,773

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
管理費								
給料手当								7,433,741
福利厚生費								1,821,788
会議費								905,021
旅費交通費								1,130
報酬								18,682
通信運搬費								1,455,951
消耗品費								579,794
印刷製本費								501,780
賃借料								10,756,805
支払負担金								142,000
委託料								337,284
光熱水費								1,081,663
役員報酬								3,636,100
修繕費								565,008
燃料費								60,000
保険料								186,870
租税公課								39,350
支払手数料								28,068
備品購入費								129,804
新聞図書費								80,024
諸会費								769,734
減価償却費								272,831
経常費用計	14,082,075	29,924,472	37,193,365	1,164,194	4,151,110	16,485,084	36,436,211	170,239,939
評価損益等調整前当期経常増減額	317,191	△ 18,472	△ 163,064	281,528	△ 18,472	0	△ 326,294	767,636
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	317,191	△ 18,472	△ 163,064	281,528	△ 18,472	0	△ 326,294	767,636

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	317,191	△ 18,472	△ 163,064	281,528	△ 18,472	0	△ 326,294	767,636
一般正味財産期首残高	2,498,870	64,449	871,487	2,164,449	64,449	0	△ 194,161	6,850,619
一般正味財産期末残高	2,816,061	45,977	708,423	2,445,977	45,977	0	△ 520,455	7,618,255
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用損益	40,562		35,881				9,744	86,187
一般正味財産への振替額	△ 40,562		△ 35,881				△ 9,744	△ 86,187
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	149,594,000	0	149,641,000	0	0	0	243,671,000	542,906,000
指定正味財産期末残高	149,594,000	0	149,641,000	0	0	0	243,671,000	542,906,000
III 正味財産期末残高	152,410,061	45,977	150,349,423	2,445,977	45,977	0	243,150,545	550,524,255

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的債券については、償却原価法（定額法）により評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法により評価している。

(3) 引当金の経常基準について

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生しているとみとめられる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異は、平成23年度より10年で費用処理することとしている。

・賞与引当金

職員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき当決算期に見合う額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の処理について

税込方法によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	499,588,638	105,846	19,659	499,674,825
定期預金	44,312,500			44,312,500
小 計	543,901,138	105,846	19,659	543,987,325
特定資産				
退職給付引当資産	21,854,951	1,951,529		23,806,480
供託金	3,000,000			3,000,000
小 計	24,854,951	1,951,529	0	26,806,480
合 計	568,756,089	2,057,375	19,659	570,793,805

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
投資有価証券	499,674,825	(499,139,500)	(535,325)	—
定期預金	44,312,500	(43,766,500)	(546,000)	—
小 計	543,987,325	(542,906,000)	(1,081,325)	—
特定資産				
退職給付引当資産	23,806,480	—	—	(23,806,480)
供託金	3,000,000	—	(2,400,000)	(600,000)
小 計	26,806,480	—	(2,400,000)	(24,406,480)
合 計	570,793,805	(542,906,000)	(3,481,325)	(24,406,480)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（事務所間仕切）	652,968	57,279	595,689
建物附属設備（電気設備等）	165,672	18,410	147,262
建物附属設備（事務所簡易間仕切）	318,600	212,400	106,200
器具備品（電話機一式）	997,500	706,562	290,938
器具備品（事務所ブラインド）	143,856	14,388	129,468
器具備品（全国大会等情報ＤＢ一式）	1,229,896	266,477	963,419
器具備品（手ぶら観光カウンター）	980,640	16,344	964,296
電話加入権	145,600	0	145,600
車両運搬具（自動車）	1,293,950	1,293,950	0
車両運搬具（カーナビ一式）	119,600	119,599	1
合 計	6,048,282	2,705,409	3,342,873

5 満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債			
第328回利付国債（10年）	50,018,002	52,080,000	2,061,998
地方債			
平成25年第7回北海道公募公債	49,910,822	52,300,000	2,389,178
第31回1号宮城県公募公債	50,141,509	51,585,000	1,443,491
第406回大阪府公募公債	49,888,461	49,625,000	△ 263,461
平成21年度第8回愛知県公募公債	99,945,000	103,460,000	3,515,000
北海道平成21年度第12回公募公債	99,880,733	103,839,000	3,958,267
第392回大阪府公募公債	49,890,298	50,806,500	916,202
横浜市平成19年度第17回事業公債	50,000,000	51,046,500	1,046,500
合 計	499,674,825	514,742,000	15,067,175

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
出捐金						
高松市出捐金	高松市	300,000,000			300,000,000	指定正味財産
香川県出捐金	香川県	150,000,000			150,000,000	指定正味財産
寄付金						
民間団体寄付金	高松タクシー協会	1,000,000			1,000,000	指定正味財産
補助金						
基本財産積立金	高松市	91,906,000			91,906,000	指定正味財産
運営事業補助金	高松市	0	101,272,861	101,272,861	0	流動資産
全国大会等開催補助事業補助金	高松市	0	29,906,000	29,906,000	0	流動資産
香川県サポート高松にぎわい創出事業補助金	香川県	0	8,136,000	8,136,000	0	流動資産
合 計		542,906,000	139,314,861	139,314,861	542,906,000	

7 固定負債の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
固定負債				
退職給付引当金	21,854,951	1,951,529		23,806,480
長期借入金	900,000		300,000	600,000
合 計	22,754,951	1,951,529	300,000	24,406,480

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	86,187
合 計	86,187

4 財 産 目 録

(平成29年3月31日現在)

(単位：円)

科目等	使用目的等	金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	運転資金として	0
普通預金 百十四銀行高松市役所支店 (898)	運転資金として	1,223,054
普通預金 百十四銀行高松市役所支店 (116)		22,771,632
普通預金 香川銀行本店		281,362
普通預金 四国労働金庫本店営業部		387,332
普通預金 高松信用金庫本店営業部		29,613
普通預金 香川県信用組合本店営業部		28,189
普通預金 香川県農業協同組合本店		3,892
普通預金 みずほ銀行高松支店		2,482
未収金 香川県ほか	未収補助金ほか	4,236,417
棚卸資産 観光名刺 (台紙)	高松市の観光地の宣伝のため販売している	388,000
棚卸資産 コングレスバック		1,492,830
流動資産合計		30,844,803
2 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 百十四銀行高松市役所支店	公益目的保有財産であり、運用益を	10,000,000
定期預金 香川銀行本店	公益目的事業の財源として使用している	10,000,000
定期預金 高松信用金庫本店営業部		10,000,000
定期預金 香川県信用組合本店営業部		10,000,000
定期預金 四国労働金庫本店営業部		4,312,500
投資有価証券 第328回利付国債 (10年)		50,018,002
投資有価証券 平成25年第7回北海道公募公債		49,910,822
投資有価証券 第31回1号宮城県公募公債		50,141,509
投資有価証券 第406回大阪府公募公債		49,888,461
投資有価証券 平成21年度第8回愛知県公募公債		99,945,000
投資有価証券 北海道平成21年度第12回公募公債		99,880,733
投資有価証券 第392回大阪府公募公債		49,890,298
投資有価証券 横浜市平成19年度第17回事業公債		50,000,000
基本財産合計		543,987,325
(2) 特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金 大和ネクスト銀行ビシャモン支店	退職金の支払いに備えた引当資産	10,000,000
定期預金 香川県農業協同組合本店		10,000,000
定期預金 みずほ銀行高松支店		3,806,480
供託金		
第三種旅行業 高松法務局	旅行業法に基づく営業保証金	3,000,000
特定資産合計		26,806,480
(3) その他固定資産		
建物 事務所間仕切 (軽量鉄骨壁)	公益目的保有財産であり、公益目的事業、	595,689
建物附属設備 電気設備等	法人管理業務で使用している	147,262
建物附属設備 事務所簡易間仕切		106,200
器具備品 電話主装置、電話機9台等一式		290,938
器具備品 事務所遮光用ブラインド (金属製)		129,468
器具備品 全国大会等情報データベース一式		963,419
器具備品 手ぶら観光受付カウンター		964,296
電話加入権 事務所 2回線		145,600
車両運搬具 カーナビゲーションシステム一式		1
その他固定資産合計		3,342,873
固定資産合計		574,136,678
資産合計		604,981,481

(単位：円)

科目等		使用目的等	金額
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	観光名刺代金	販売目的の物品等の業者支払未払分	194,400
未払金	高松市ほか	高松市補助金返納分ほか	27,121,205
未払費用	N T T 西日本ほか	販売目的以外の継続する役務の提供等の未払分	178,680
預り金	社会保険料本人負担分ほか		774,788
賞与引当金	平成28年度分	規程に基づく職員賞与の当期負担分	1,086,773
未払消費税	観光案内所運営受託事業	受託事業収益に含まれる消費税等	694,900
流動負債合計			30,050,746
2 固定負債			
退職給付引当金		退職金の支払いに備えた引当金	23,806,480
長期借入金	香川県信用組合本店営業部	旅行業営業保証金供託のための借入金	600,000
固定負債合計			24,406,480
負債合計			54,457,226
正味財産			550,524,255

監 査 報 告 書

平成29年5月10日

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー
理事長 佐 野 正 殿

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー

監 事 石 川 豊 ㊟

監 事 本 田 典 孝 ㊟

私たちは、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度における会計及び業務の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類及び収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 事業報告については、理事会及びその他の会議に出席し、担当理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、当法人の財務状況並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は真実であり、法令若しくは定款の規定に違反するが如き事実はないことを認めます。